

知事コメント  
(日米首脳会談について)

本日の日米首脳会談においては、沖縄に関連して、両首脳から、地元の負担を軽減しつつ、両国でこの地域の問題の解決に取り組むとの認識が示されました。

総理からは、沖縄県が要請した普天間飛行場の5年以内の運用停止を含む負担軽減について、オバマ大統領へ協力を求めた旨の発言がありました。

また、オバマ大統領は、尖閣諸島が日米安全保障条約の適用対象になると明言されたとのことであります。

両首脳が、沖縄の基地負担軽減の必要性について認識を共有されたことは意義があることだと考えております。

両国が協力し、地域の平和と沖縄の基地負担の軽減について、さらなる取り組みを行うことを期待しております。

平成 26 年 4 月 24 日  
沖縄県知事 仲井眞 弘多